

【特別展】水のかたち — 《源平合戦図》から千住博の「滝」まで—

特集展示：日本画に描かれた源平の世界

2022年夏、山種美術館では水をテーマとした涼やかな展覧会を開催いたします。

四方を海に囲まれ、湿潤な気候で降水量の多い日本では、水は身近な存在であり、古来、名所絵や山水画、物語絵など、さまざまな主題の中で描かれてきました。近代以降の日本画においても、海や湖、川や滝を題材とした風景画から、水辺の場面を描く歴史画まで、水が主要なモチーフとなった作品は時代やジャンルを問わず幅広く見いただけます。

降り注ぐ雨、煙る霧、川の清らかな流れ、荒ぶる海、池や湖のゆらめく水面、水が結晶となって降り積もる雪など、水は刻々と姿を変え、多彩な表情をみせます。画家たちはその表情を巧みにとらえ、各々の感性と技術によって、水のかたちを個性豊かに描き出しています。

本展では、海辺を舞台とする《源平合戦図》から、《名所江戸百景 大はしあたけの夕立》など雨を描いた名作で知られる歌川広重(1797-1858)の名所絵、群青をふんだんに使って海を表現する川端龍子(1885-1966)の《黒潮》、中国の幽玄な山水の景を水墨で描き出した松尾敏男(1926-2016)の代表作《連山流水譜》(個人蔵)、画家の代名詞にもなっている千住博(1958-)の「滝」シリーズまで、水を印象的に描き出した優品の数々を展示いたします。

暑さ厳しき折、涼感にあふれた美術館の展示室で、日本の画家たちが描き出すさまざまな水のかたちをお楽しみいただき、涼しさとともに、水の恵みと自然の豊かさを感じていただければ幸いです。

【特集展示：日本画に描かれた源平の世界】

昨今、アニメや大河ドラマで注目を集めている源平の物語は、日本画でもたびたび取り上げられ、小林古径(1883-1957)や前田青邨(1885-1977)をはじめ、歴史画を得意とする画家たちを中心に描き継がれてきました。

そのなかで、宇治川や瀬戸内海など、水辺を舞台とした場面が数多く絵画化されています。これらの作品を「水のかたち」展で取り上げるとともに、源義経と藤原秀衡を描く安田靫彦(1884-1978)《平泉の義経》、平清盛の娘・徳子(建礼門院)を描く今村紫紅(1880-1916)《大原の奥》など、源平のヒーロー、ヒロインを題材とした作品をあわせて展示いたします。

*上記文中のうち、所蔵表記のない作品はすべて山種美術館蔵です。

■展覧会名：【特別展】水のかたち — 《源平合戦図》から千住博の「滝」まで—

特集展示：日本画に描かれた源平の世界

Special Exhibition: The Shape of Water—From the War Between the Genji and Heike Clans to Senju Hiroshi's Waterfalls Series
With Special Viewing: Nihonga Depicting the Genji and Heike Clans

■会 期：2022年7月9日(土)～9月25日(日) ※会期中、一部の作品を展示替えいたします[前期7/9(土)～8/14(日)、後期8/16(火)～9/25(日)]

■会 場：山種美術館 (〒150-0012東京都渋谷区広尾3-12-36) ■主 催：山種美術館、日本経済新聞社

■開館時間：午前10時～午後5時 (入館は午後4時30分まで) ※今後の状況により会期・開館時間等は変更する場合がございます。

■休 館 日：月曜日 [7/18(月)、9/19(月)は開館、7/19(火)、9/20(火)は休館]

■入 館 料：一般1300円、中学生以下無料 (付添者の同伴が必要です)

※障がい者手帳、被爆者健康手帳をご提示の方、およびその介助者(1名)一般1100円

夏の学割 大学生・高校生 500円 ※本展に限り、特別に入館料が通常1000円のところ半額になります。

※きもの特典：きものでご来館のお客様は、入館料から200円引きとなります。 ※複数回の割引・特典の併用はできません。

入館日時のオンライン予約も可能です(詳細は当館Webサイトをご覧ください)。

■主な出品作品：約50点 ※出品内容には変更が入る場合があります。※所蔵表記のない作品はすべて山種美術館蔵。

※ 会期中一部展示替えを行います。(○...前期展示7/9-8/14、●...後期展示8/16-9/25、無印...全期間展示)

《源平合戦図》、歌川広重《東海道五拾三次之内 蒲原・夜之雪》●、《東海道五拾三次之内 庄野・白雨》●、《名所江戸百景 大はしあたけの夕立》○、小堀鞆音《那須宗隆射扇図》、横山大観《夏之海》、川合玉堂《雪志末久湖畔》、菱田春草《雨後》、今村紫紅《大原の奥》、奥村土牛《鳴門》、安田靫彦《平泉の義経》、前田青邨《大物浦》、川端龍子《黒潮》、山本丘人《流転之詩》、横山操《滝》、松尾敏男《連山流水譜》(個人蔵)、加山又造《波濤》、千住博《ウォーターフォール》ほか

1. 今、大注目の源平の世界に取材した作品を特集！

大河ドラマやアニメで注目を集め、水辺を舞台にした場面も多い源平の物語。それらをテーマにした作品を、この夏、特集展示します。教科書で目にした小堀鞆音《那須宗隆射扇図》や、源平のヒーローを描いた安田靫彦《平泉の義経》など、数々の優品をご覧ください！

2. 世界的に活躍する千住博の「滝」を堪能できるチャンス！

千住博による人気の「滝」シリーズの初期作品《ウォーターフォール》や、5色の鮮やかな色彩で滝を表現した《フォーリングカラーズ》を通して画家が描いた滝の世界を堪能できるチャンスです！

3. 久々の展示となる優品の数々！

当館では24年振りの展示となる松尾敏男の代表作《連山流水譜》(個人蔵)や、4メートル超の大作で16年ぶりの公開となる石田武《鳴門海峡》などの優品をご紹介します。どうぞお楽しみに！

■交通案内：JR・東京メトロ日比谷線 恵比寿駅より徒歩約10分

恵比寿駅西口前より都バス(学06番 日赤医療センター前行)広尾高校前下車、徒歩1分

渋谷駅東口ターミナル54番乗り場より都バス(学03番 日赤医療センター前行)東4丁目下車、徒歩2分

■問い合わせ：050-5541-8600(ハローダイヤル 電話受付時間：9:00～20:00)

■公式HP：<https://www.yamatane-museum.jp/> 公式SNS：   

報道関係の方からの
本件に関するお問合せ先

山種美術館広報事務局(ユース・プランニングセンター内)／担当：和泉、平野、池袋
〒150-8551 東京都渋谷区桜丘町9-8 KN渋谷3ビル4F
TEL：03-6821-8547 FAX：03-6821-8869 E-mail：yamatan-pr@ypcpr.com



① 歌川広重《東海道五拾三次之内 蒲原・夜之雪》1833-36(天保4-7)年頃 大判錦絵 山種美術館 [後期展示 8/16-9/25]



② 歌川広重 → 《名所江戸百景 大はしあたけの夕立》 1857(安政4)年 大判錦絵 山種美術館 [前期展示 7/9-8/14]



③ 横山大観《夏の海》 1952(昭和27)年頃 紙本・彩色 山種美術館



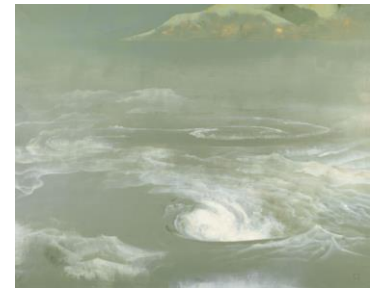
⑤ 菱田春草《雨後》→ 1907(明治40)年頃 絹本・彩色 山種美術館



④ 川合玉堂《雪志末久湖畔》 1942(昭和17)年 絹本・墨画淡彩 山種美術館



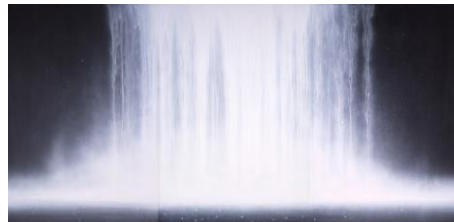
⑥ 川端龍子《黒潮》 1932(昭和7)年 絹本・彩色 山種美術館



⑦★ 奥村土牛《鳴門》 1959(昭和34)年 紙本・彩色 山種美術館



⑧★ 山本丘人 《流転之詩》 1974(昭和49)年 紙本・彩色 山種美術館



⑨★ 千住博 《ウォーターフォール》 1995(平成7)年 紙本・彩色 山種美術館

特殊展示 日本画に描かれた源平の世界



←⑪ 小堀鞞音 《那須宗隆射扇図》 1890(明治23)年 絹本・彩色 山種美術館



⑫→ 今村紫紅 《大原の奥》 1909(明治42)年 絹本・彩色 山種美術館



←⑬★ 安田靫彦 《平泉の義経》 1965(昭和40)年 紙本・彩色 山種美術館



←⑩ 《源平合戦図》 17世紀(江戸時代) 紙本金地・彩色 山種美術館

※ 出品作品および展示期間は都合により変更される場合があります。

※ ★印のついている作品は著作権保護期間が切れておりませんが、このたびの展覧会紹介に関する掲載については、当館が著作権者から画像使用許可をまとめて取っておりますので、本展周知の目的に限り使用が可能です。

▲ 広報画像申し込み用紙 FAX : 03-6821-8869

- ※ 出品作および展示期間は都合により変更される場合があります。
- ※ 掲載、放映希望の画像を下記よりお選びの上、☑を入れてお送り願います。後日、画像データ (JPEG) をメールで送信いたします。
- ※ 画像をご掲載の際には、下記の通りクレジット表記をお願いいたします。
- ※ ★印のついている作品は著作権保護期間が切れておりませんが、このたびの展覧会紹介に関する掲載については、当館が著作権者から画像使用許可をまとめて取っておりますので、本展周知の目的に限り使用が可能です。

- 1 歌川広重《東海道五拾三次之内 蒲原・夜之雪》1833-36(天保4-7)年頃 大判錦絵 山種美術館 [後期展示8/16-9/25]
- 2 歌川広重《名所江戸百景 大はしあたけの夕立》1857(安政4)年 大判錦絵 山種美術館 [前期展示7/9-8/14]
- 3 横山大観《夏の海》1952(昭和27)年頃 紙本・彩色 山種美術館
- 4 川合玉堂《雪志末久湖畔》1942(昭和17)年 絹本・墨画淡彩 山種美術館
- 5 菱田春草《雨後》1907(明治40)年頃 絹本・彩色 山種美術館
- 6 川端龍子《黒潮》1932(昭和7)年 絹本・彩色 山種美術館
- 7 奥村土牛《鳴門》1959(昭和34)年 紙本・彩色 山種美術館★
- 8 山本丘人《流転之詩》1974(昭和49)年 紙本・彩色 山種美術館★
- 9 千住博《ウォーターフォール》1995(平成7)年 紙本・彩色 山種美術館★
- 10 《源平合戦図》17世紀(江戸時代) 紙本金地・彩色 山種美術館
- 11 小堀鞆音《那須宗隆射扇図》1890(明治23)年 絹本・彩色 山種美術館
- 12 今村紫紅《大原の奥》1909(明治42)年 絹本・彩色 山種美術館
- 13 安田靉彦《平泉の義経》1965(昭和40)年 紙本・彩色 山種美術館★

* 下欄にご記入いただいた個人情報は、本展覧会広報用写真貸出の目的にのみ使用し、それ以外の用途には使用しません。

貴紙(誌)名/番組名/サイト名 (URL) : _____

掲載・放映予定日/コーナー名 : _____

掲載号発売日 : _____

貴社名・部署名 : _____

ご担当者 : _____

ご住所:〒 _____

TEL : _____

FAX : _____

E-mail : _____

提供画像の必要期限 : _____

月

日まで

< 読者プレゼント招待券 > 5組10枚

希望します

応募〆切

月

日頃を予定

本展覧会の作品写真及び読者プレゼント招待券を希望される方は、本用紙に必要事項をご記入の上、FAX またはメールでお申し込みください。画像については JPEG データにてお送りいたします。

- * 読者プレゼント招待券(5組10枚)の提供は、作品写真1点以上をご掲載の上、本展覧会を紹介いただける場合に限らせていただきます。
- * 掲載・放映の際には、作家名、作品名、所蔵先クレジットを必ずご記載ください。
- * 画像のトリミングおよび文字のせはご遠慮ください。
- * 展覧会広報に関係しない記事でのご使用はお断りいたします。
- * 作品タイトル、クレジット表記の確認をいたしますので、原稿が出来上がりましたら、ゲラを展覧会広報事務局担当者まで直接お送りいただきますよう、お願いいたします。
- * 掲載後、下記宛先に見本を1部お送りください。

報道関係の方からの
本件に関する
お問合せ先

山種美術館広報事務局(ユース・プランニング センター内)/担当: 和泉、平野、池袋
〒150-8551 東京都渋谷区桜丘町9-8 KN渋谷3ビル4F
TEL: 03-6821-8547 FAX: 03-6821-8869 E-mail: yamatane-pr@ypcpr.com